

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 高齢者の認知機能に対する 運動療法の有効性に関する 検討 ～無作為化比較試験 ～	単著	2008年	平成19年度鳥取大 学医学系研究科保 健学専攻修士課程 論文集 3,1-21	認知機能に対する運動療法の効果を、世界的に 未だ報告の少ない無作為化比較試験にて検証 を行ったが、統計的に有意な結果は導き出せな かった。しかし、対照群を認知症予防域であるタ ッチパネル式認知症治療評価法7点以上と設定 すれば有意な結果となる可能性が示唆された。 論文掲載:P.1～P.21 本人担当部分:データ収集・分析、論文作成 共著者:なし
2 (報告・発表) 精神科作業療法の歴史 ～ 理論的背景を中心に～		2006年12月	日本作業療法士協 会(鳥取県作業療法 士会)現職者研修会 「精神障害領域」	精神科における作業療法の歴史とその理論的 背景の変遷を振り返り、報告者の臨床経験から 学んだ多くの事項を踏まえて、今後の精神障害 領域の作業療法のあるべき方向性について考 察し報告した。
3 (報告・発表) 認知症に対する精神科作業 療法		2007年11月	日本作業療法士協 会(鳥取県作業療法 士会)現職者研修会 「老年期障害領域」	認知症作業療法における治療者患者関係の重 要性について概観し、作業療法士が脳の認知機 能へのアプローチだけでなく、個人因子である 患者の認知症耐性を高めることと、認知症を生 みやすい環境要因、特に患者の人間関係調整 やストレス対処に対する介助という視点を持つこ との重要性を報告した。
4 (報告・発表) 住民参画の地域づくり ～認 知症予防の取り組みを通じて ～		2010年7月	平成22年度鳥取県 市町村保健師協議 会研修会	鳥取県境港市で取り組んだ認知症地域支援体 制構築等モデル事業についての内容を報告し、 住民主体の啓蒙活動の重要性、行政および地 域包括支援センターの在り方、地域づくりの視 点からの認知症予防事業の必要性などについて 考察し報告した。